

～健やかな荒川を目指して～

第9期 荒川をよくする墨田区民会議

第1回委員会 議事概要

委員名敬称略

第9期 第1回荒川をよくする墨田区民会議を開催しました

■日 時：平成25年5月24日（金）18：00～19：30

■場 所：墨田区役所

■参加者：構成員14名中11名

■主な議題：

- (1) 区民委員及び行政委員の紹介、議長の選出
- (2) 第8期の活動報告と第9期の検討内容
- (3) 隅田水門の自然地における管理運営の
仕組みづくりと委員会等のスケジュール
- (4) その他



1. 区民委員及び行政委員の紹介、議長の選出

第9期第1回委員会のため区民委員及び行政委員により自己紹介があった。

第9期委員会の議長は田代委員となった。

2. 第8期の活動報告と第9期の検討内容／隅田水門の自然地における管理運営の仕組みづくりと委員会等のスケジュール

（墨田区：資料説明）

議 長）4ページの「マネジメント（維持管理）」は「マネジメント（維持管理・運営）」となりますか。

墨田区）はい。

議 長）5ページの「マネジメント（維持管理・運営）の策定」はプラン・計画の意味ですね。とりあえず「マネジメント計画」としてよろしいですか。

墨田区）はい。

委 員）2ページの基盤整備工事は、今はストップしているのですか。

墨田区）資料は「施工時期は調整中」と書いてありますが、現場の状況は確認しているところですよ。まず国土交通省の基盤整備工事があり、その後、墨田区の公園の整備をします。なるべく早期に取りかかれるように調整中です。

委 員）国土交通省の工事が終わってからということですか。

墨田区）はい、そうです。

委 員) 完成の用途は決まっているのですか。マネジメント(維持管理)は、墨田区がするのか、国交省と一緒にやるのか。最終的にいつ完成・開園するのか。期限はないのかなど、教えてください。

墨田区) なるべく早期にと考えていますが、正式に何年に完成とは言えない状況です。また、本格実施時の維持管理については、河川と接する水際部は国交省、公園・自然地として開放する部分は、町会・学校・地元・教育団体等と行政で協議会をつくり、役割分担をして行う計画です。

委 員) 区民を巻き込んだ組合をつくって、みんなで目標を立ててやるということですか。

墨田区) そこが今回の維持管理・マネジメントの一番大きなポイントです。これから協議会をつくり、官民一緒に管理の計画を進めていきたいと思います。

議 長) 4ページの「マネジメント(維持管理・運営)」に今から入るということですか。この会議自体が準備期間(1～2年間)に入っているということですか。

墨田区) 入っています。

議 長) 従来、国土交通省と墨田区が直接管理していたところを、各団体を組織化して進めていきたいということですね。

墨田区) どのような団体が携われるかはまだわかりませんが、最終的には資料の「本格実施時」の形のようにしたいと思います。

議 長) 八広で試行的に考えるのであれば、準備期間の図にも「アクション」を入れたほうがいいのではないですか。

墨田区) そのようにします。

議 長) マネジメント計画を八広水辺公園で予行演習的にやってみるのが、一番大きな事柄ですね。

墨田区) はい。

委 員) 墨田区や荒下の補助や予算は、まだまったくついていないのですか。

荒 下) 工事の予算はついてます。

委 員) 2件合わせてか、八広水辺公園だけですか。

墨田区) 八広水辺公園はすでに開園しているので、その工事はありません。あくまで隅田水門脇の自然地の工事を行っていくということです。予算はその部分の国土交通省の工事のことです。

委 員) 付いているのならそれで十分です。

議 長) 新しい方に「自然地整備」の意味をご説明したほうがいい。計画の中で「自然地」といわれている部分の整備の一つのスタイルであり、その後で公園として供用していくという、将来的な流れをご説明してください。

(墨田区道路公園課から説明)

荒 下) 6ページの「ヨシ原を活用した迷路作り」の部分は大潮になると水に浸かるので、外側のオギのところでやったほうが良いと思います。

議 長) 今のご指摘で実施設計上は問題ないですか。

墨田区) 迷路作りはアクションの一つとして入れているもので、場所を変えて活動するのは問題ありません。

荒 下) 干潮・満潮で大池と小池の形も変わります。

議 長) その時間帯は年間を通して変動しますか。

墨田区) 潮位表で何月何日何時頃が潮が高いかがわかるので、そのことから、いつ水没するのかがわかります。

議 長) フィールドワークは八広で行うという理解でよいですか。

墨田区) はい。やり方については皆さんの意見を聞きながら決めていきたいと思います。

議 長) ワークショップというのは、現地で行うものとは別のものですか。

墨田区) ワークショップで細かい検討をして、現地での活動は見学会・フィールドワークというふうに分けています。

(墨田区からワークショップに関する説明)

委 員) 8ページ2段目のワークショップの6月で「現地見学会の場所の提案」とあるが、これは隅田水門ではなく、いろいろな場所を見るということですか。

墨田区) 自然地を使った地元団体の活動事例の見学や、行政の方等に話を聞ければ、アクションに反映できるのではないかと考えています。

議 長) 区内に限らないということですか。いわゆる先進事例の見学ですね。

墨田区) そうです。いろいろな意見を聞いて、われわれのアクションに案を盛り込んでいく際の参考にしたいと思います。

議 長) 今年度のワークショップの3回目に、「生態園で活動できる団体の検討」とある。2ページの図を生態園と呼ぶのかもしれないが、生態園の具体的イメージはどこかの段階でご説明ください。

墨田区) はい。名称として「生態園」と呼ぶか「公園」と呼ぶかということもあります。

全体の進め方や方針を検討し、ワークショップ方式で進めていくことに決定。

具体的な内容や進め方は事務局で検討し、委員に周知する。

3. その他

墨田区) どのようなアクションができるか、ご意見や事例があれば、次回ワークショップまでにお持ちいただきたい。次回以降は日程は調整のうえご連絡します。

議事録要旨の確認は議長が行う。次回の議事録確認委員は会議中に指名する。